

## 1. 大規模抗議集会関連

### ▼世論調査連合協定署名を求める抗議集会

・24日、EUとの連合協定署名の準備プロセスを中断する旨の21日付閣議決定に対する抗議する大規模集会がキエフ市中心部において開催され、警官隊と集会参加者との間での衝突が多数発生。ヤツェニューク「バチキフシチナ」会派長及びチャフニボク「スヴォボダ」党党首等の野党代表者をはじめとする同集会参加者は、アザーロフ内閣の退陣、同閣議決定の取消し、ティモシェンコ前首相の釈放及び連合協定署名等をヤヌコーヴィチ大統領に要求する決議を採択。21日の閣議決定以降、同様の抗議集会がウクライナ各地で開催。

・25日、ティモシェンコ前首相は、ヤヌコーヴィチ大統領にEUとの連合協定を署名するよう求め無期限のハンガーストライキの開始を宣言。同日以降も、キエフをはじめウクライナ各地において抗議集会が継続。

・26日、ヤツェニューク「バチキフシチナ」会派長は、キエフ市中心部のヨーロッパ広場での野党の抗議集会参加者に対し、独立広場での集会に合流するよう呼びかけるティモシェンコ前首相の書簡を代読し、ヨーロッパ広場での集会参加者は独立広場へ移動。

・29日、独立広場における抗議集会参加者は、ビリニュスにおける東方パートナーシップ首脳会合においてEUとの連合協定署名が行われなかったことを受け、ヤヌコーヴィチ大統領及びアザーロフ内閣の退陣を要求する宣言を採択。

### ▼大統領及び与党の動き

・25日、ヤヌコーヴィチ大統領は、欧州基準の社会構築以外の選択肢はウクライナには存在しないとしつつ、(ロシアの)圧力により生産が停止し国民が路頭に迷うことがあってはならないとして難しい決定を下さなければならなかったとする国民へのメッセージを発表。同日、外務省は、ウクライナの欧州統合路線に変更はない旨の声明を発表。

・26日、ヤヌコーヴィチ大統領は、国内テレビ局5社のインタビューに応じ、国益の考慮の重要性、欧州統合路線の継続、ウクライナ・EU・ロシアによる三者協議実施、ロシアからの天然ガス輸入量の削減等に関し発言。また、同大統領は、大規模集会開催時においては秩序維持の必要性はあるとしつつ、平和な集会においては武力行使は行ってはならない旨、ティモシェンコ前首相の問題はEUではなくウクライナの裁判所が解決する旨、EUとの連合協定署名後の移行期にウクライナ経済の立て直しに毎年200億ユーロ、2017年までに1,600億ユーロを要するが、連合協定の条件では技術的援助6.1億ドルが提案されているのみである旨等発言。

・29日、地域党支持者は、ウクライナの貿易・経済問題解決のためのウクライナ・EU・ロシア三者委員会の創設を求める集

会をキエフ市ヨーロッパ広場において開催。

### ▼国外の反応

・26日、グロウジエネ・リトアニア国会議長は、キエフ市内ヨーロッパ広場で開催された抗議集会に参加し、リトアニアはウクライナにとっての欧州への架け橋となる用意があるとして、将来のために結束するよう呼びかけ。27日、ルイバク最高会議議長は、同日予定されていたグロウジエネ議長との会談をキャンセル。

・26日、シコルスキ・ポーランド外相及びヴェスターヴェレ独外相は、ウクライナ各地で行われている平和的なデモはウクライナ国民が欧州への接近を望んでいる証拠であるとして、同国民を支持する旨の共同声明を發出。

## 2. 内政

### ▼野党の動き

・25日、野党3党党首は、21日付閣議決定を受け内閣不信任決議案を最高会議に提出。

・25日、受刑者の国外治療に関する法案作成のための作業部会に所属する野党議員5名は、受刑者の国外治療許可の条件や手続を定めた「服役の中断」に関する法案を最高会議に提出。

### ▼その他

・29日、ペルヴォマイスク市地区裁判所は、6月26日に発生した警察官等による婦女暴行事件の容疑者4名に対し禁錮5～15年等の判決を宣告。

### ▼世論調査

[キエフ国際社会学研究所]

・11月中旬に大統領選挙が実施され、ティモシェンコ前首相が出馬しなかった場合の候補者支持率

ヤヌコーヴィチ大統領:17%、クリチコ「ウダール」党党首:16%、ヤツェニューク「バチキフシチナ」会派長:8%、シモネンコ共産党党首:6%、チャフニボク「スヴォボダ」党党首:4% 等

・11月中旬に大統領選挙の決選投票が実施された場合の候補者支持率

(野党候補がクリチコ「ウダール」党党首の場合)

クリチコ党首:35%、ヤヌコーヴィチ大統領:22%

(野党候補がヤツェニューク「バチキフシチナ」会派長の場合)

ヤツェニューク会派長:27%、ヤヌコーヴィチ大統領:23%

(野党候補がチャフニボク「スヴォボダ」党党首の場合)

ヤヌコーヴィチ大統領:25%、チャフニボク党首:19%

・調査は11月9日から23日にかけて2,011名の成人を対象に実施。

・近日中に最高会議選挙が実施された場合の政党支持率(投

票意思のない者を除く)

地域党:23%、「バチキフシチナ」党:22%、「ウダール」党:18%、共産党:9%、「スヴォボーダ」党:7% 等

・11月中旬に最高会議選挙が実施された場合の政党支持率  
地域党:16%、「ウダール」党:14%、「バチキフシチナ」党:10%、共産党:7%、「スヴォボーダ」党:5% 等

・調査は11月8日から17日にかけて2,011名の成人を対象に実施。

### 3. 経済

#### ▼財政・金融

・29日、フィッチ格付けサービスは、ウクライナの銀行部門の成長及び利益は2013年中は脆弱な状況が継続されるとともに、2014年においてもその状況が維持される可能性が高いであろう、ウクライナの脆弱な対外財務状況により与えられたリスクの高まりは深刻であり、それゆえ、為替レートの価値下落の可能性と大きなマクロ経済の不安定を生み出している旨分析。同サービスは、しかしながら、本銀行部門は2008年のリーマンショックに比較して、ネガティブなマクロ経済の改善のための回復力がいくらかあるはずである旨言及。

#### ▼二国間経済関係

・26日、アザーロフ首相は、ウクライナの第一の目標はロシアとの通常の貿易・経済関係を取り戻すことである、12月早々より、この貿易や経済関係の回復のため、ロシアとの交渉に臨み、二国間関係の発展のためのロードマップを議論することになるであろう旨発言。

・27日、ヤヌコーヴィチ大統領は、人工のガスを製造するための4つのプラントの建設のための大きな投資プロジェクトを進めており、これらの関連文書が訪中の間に署名されることになるであろう旨発表。

・27日、ルィバク最高会議議長は、カナダとウクライナの間で二国間において、自由貿易協定の交渉を再開するであろう旨発表。

### 4. 外政

#### ▼ビリニウス首脳会合に向けた動き

・25日、コジャーラ外相は、ヤヌコーヴィチ大統領は28、29両日のビリニウスにおける東方パートナーシップ首脳会合に出席する意向である旨発言。26日、アザーロフ首相は、ヤヌコーヴィチ大統領はビリニウス首脳会合においてウクライナ・EU連合協定署名に関するウクライナ・ロシア・EU三者協議の実施に関し提案する意向である旨発言。

・27日、ティモシェンコ前首相は、ヤヌコーヴィチ大統領が連合協定署名の決断をした際は、無条件に署名するようEU各国のリーダーに対し呼びかけ。

#### ▼東方パートナーシップ首脳会合(於ビリニウス)

・28、29両日、ビリニウスにおいて東方パートナーシップ首脳会合が開催され、ウクライナからヤヌコーヴィチ大統領が出席。同大統領は、同機会にバルローズ欧州委員長、ファン

＝ロンパイ欧州理事会議長、フィーレ拡大・近隣政策担当欧州委員、グリボウスカイト・リトアニア大統領、メルケル独首相及びアンシブ・エストニア首相と会談。会談後、グリボウスカイト大統領は、連合協定の署名に関しヤヌコーヴィチ大統領を説得できなかった旨発言。

・28日、フィーレ拡大・近隣政策担当欧州委員は、東方パートナーシップ首脳会合の枠組みで実施されたビジネスフォーラムにおいて、ウクライナ側の準備ができ次第、連合協定署名は可能であるとしつつ、EUが署名の条件であるティモシェンコ前首相の国外治療問題に関する立場を変えることはしない旨発言。

・28日、ウクライナとEUは、共通航空空域協定に仮署名。

・29日、ヤヌコーヴィチ大統領は、本会議に出席し、連合協定署名の準備プロセスの一時中断は欧州統合のための改革停止を意味するものではなく、ウクライナは近い将来連合協定に署名する意向である旨、ウクライナは財政・経済的問題に直面しているとして、その補填のため欧州からの援助を必要としている旨、ウクライナ・EU・ロシア三者協議の実施に関するEUの支持を期待する旨等発言。また、アシュトン外務・安全保障政策上級代表は、ウクライナとの連合協定署名問題に関してはウクライナが決める問題であるとしつつ、ウクライナに対するEUへの扉は開いている旨発言。同首脳会合において連合協定を含めウクライナ・EU間の文書の署名は実施されず。

・29日、ヤヌコーヴィチ大統領は、首脳会合の機会にラホイ・スペイン首相及びオランド・フランス大統領とそれぞれ会談し、両国協力関係等に関し協議。

#### ▼ルィバク最高会議議長の訪露

・28日、ルィバク最高会議議長は、サンクトペテルブルクを訪問し、CIS諸国議会間会議に出席し、2014年のウクライナの国民詩人タラス・シェフチェンコ生誕200周年祭はウクライナ社会のみならず、CIS諸国の団結と友好を強化する旨発言。

・29日、ルィバク議長は、ナルイシュキン露国家院議長及びマトヴィエンコ露連邦院議長と会談し、両国議会間協力及びウクライナと関税同盟諸国との協力関係構築問題等に関し協議。

・また、ルィバク議長は、28日にニグマトゥリン・カザフスタン下院議長と、29日にコルマン・モルドバ議会議長及びトカエフ・カザフスタン上院議長とそれぞれ会談し、両国議会間協力の問題及びウクライナの欧州統合路線等に関し協議。ニグマトゥリン議長は、カザフスタン下院議員が15日にウクライナで行われる最高会議やり直し選挙に監視員として参加する旨発言。

#### ▼その他

・23日、フィーレ拡大・近隣政策担当欧州委員は、来年予定されている次回のEU・ウクライナ・サミットにおいて署名される可能性がある旨発言。

- ・25日、ファン＝ロンパイ欧州理事会議長及びバローゾ欧州委員長は、ウクライナとの連合協定署名に関するEUの提案は有効であるとして、同署名のためには2012年12月のEU外務理事会の結論で示された条件に関しウクライナ指導者の断固たる行動及び目に見える進展が必要であるとすする共同声明を発出。
- ・26日、プーチン露大統領は、ウクライナの欧州統合路線に関しヤヌコーヴィチ大統領が提案したウクライナ・EU・ロシアの三者による協議を行う必要がある旨、また、ウクライナとのガス契約を見直す意向はない旨発言。
- ・26日、オレホフ・ウクライナ国家消費者権利保護監督局長

官は、モスクワにおいてウクライナ大手製菓会社「ロシエン」社製品の品質及び安全性の問題に関しロシア連邦消費者権利保護庁代表者と協議し、同社製品のロシア市場への供給再開のため両国専門家による協議を実施することで合意。

- ・27日、欧州議会監視ミッション共同代表のクファシニエフスキ元ポーランド大統領及びコモロフスキ・ポーランド大統領は、欧州は連合協定に関するウクライナとの交渉においてロシアからの圧力の問題を十分考慮していなかった旨それぞれ発言。

(了)